

黒川小だより

SINCE2013

胎内市立黒川小学校

令和6年1月23日

NO.12



やればできる！ やれば伸びる！！ やれば成長できる！！

校長 米山 智

「やればできる」という言葉、私の前々任校の合い言葉だったのですが、タレントのティモンディ高岸さんがよく使う言葉としても知られています。高岸さんの母校の高校の校訓なのだそうです。某有名塾でも、「Y(やれば)・D(できる)・K(子)」として使われています。

実は高岸さん、この「やればできる」には、「やれば成功する」よりも、「やれば成長できる」という思いをこめて言っているのだそうです。またそれに加え、「『やればできる』と前向きな気持ちをもって取り組むことで、よりよい結果に結びつきやすい」とも語っています。(数年前のNHKの番組からです。)

「やればできる」…がんばって練習すればプロ野球選手になれる、という人は、ほんの一握りの人かもしれません。

「やれば成長できる」…がんばって練習すれば、プロ野球選手になれなくても、全員、確実に、いろいろなことが上達します。



高岸さんはお笑い芸人と野球選手(BCリーグ栃木ゴールデンブレーブスの投手)の二刀流としても知られています。高校の時からプロに注目され、大学3年時の故障でプロ入りを断念したそうなのですが、その後お笑い芸人として人気者に。故障も癒えて野球選手としてもBCリーグの公式戦で登板するなど活躍しています。

今から10年ほど前の本、「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話」(通称ビリギャル)の著者の坪田信貴さんは、その著書の中で、「やれば伸びる」と言っています。がんばって勉強したから偏差値が40も上がり(やれば伸びる)、その結果難関大学に合格した(やればできる)ということなのです。(先日もテレビでこのことを言っていました。)

令和6年となり、早いもので1月が終わろうとしています。3学期は短く、51日しかありません。ことわざに、「1月は行く(往ぬる)、2月は逃げる、3月は去る」とありますが、充実した3学期、令和5年度の締めくくりがしっかりとできるよう、めあてに向かって、「やれば伸びる」「やれば成長できる」と突き進むことができるよう、職員一丸となって子どもたちを支援していきます。

校内 書き初め大会

1月11日(木)に校内書き初め大会を行いました。3年生以上の毛筆では、2学期のうちから地域の方にゲストティーチャーをお願いし、指導していただきました。また、冬休みの課題にもなっていたので、どの学年も練習を重ねてきました。

1・2・3年生は自教室、4～6年生は、体育館で書きました。どの会場もしんと静まり返り、緊張感のある雰囲気の中で、1、2年生は鉛筆を、3～6年生は筆を持ち、一文字一文字真剣に丁寧に書くことができました。

子どもたちの力作は2月2日(金)まで、教室前廊下に展示してあります。

皆様、ぜひ子どもたちの作品を見に学校にお越しください。



2年生「おもちゃランド」

12日の3時間目、2年生が「おもちゃランド」に、1年生を招待しました。

2年生は生活科の学習で、おもちゃづくりや遊び場づくり、ルールづくりや遊び方の説明など、準備をしてきました。1年生に喜んでもらおうと、リハーサルもしっかり行いました。その成果もあって、当日は大成功。その場で説明を付け足したり、1年生に優しく声をかけたりして、一緒に歓声をあげて場を盛り上げました。そんな2年生の姿に成長を感じました。

1年生は2年生の説明をよく聞き、ルールを守って楽しく遊ぶことができました。「楽しかった。」「もっとやりたい。」「2年生ありがとう。」という声が1年生から聞かれました。

1年生にとっても2年生にとっても、よい学びの機会になりました。



※黒川小学校のホームページは日々更新しています。学校の情報はホームページでも確認してください。

黒川小学校ホームページ



<https://tainai-kurokawa-es.edumap.jp/>